

# 弘前城石垣修理

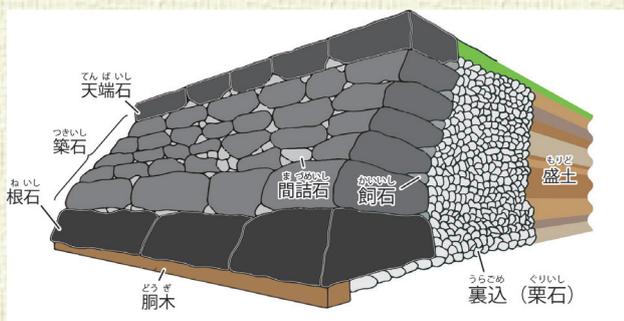
## 第17回 ～令和3年度の工事～

昨秋に着手した「令和2年度史跡弘前城跡本丸石垣東面（北側）積直し工事」は、作業ヤード（作業するための場所）の整備や足場の設置を終え、まもなく本格的に始動します。今回工事を行う北側工区（※1）の石垣は18段前後で築かれており、令和3年度は8～9段を積み直す計画です。



▲北側工区の範囲（※1）

主な作業工程としては、解体した築石（※2）を石材置き場（四の丸）から現場（本丸）に運搬し、基準勾配を示す目印である丁張（ちょうはり）に合わせて一石ずつ積み直します。これと並行して、築石の補修や交換用の新石材の加工も行います。



▲石垣の模式図（※2）

北側工区の北端部分は、元禄期以前（約300年前）の石垣であることが解体時に確認されています。今回の積み直し工事でも、当時の勾配や背面の構造を再現していきます。石垣に使われている築石には1石1石に歴史があり、大変貴重なものであることから、基本的にはそのまま元の位置に戻されますが、北側工区で積み直す1,094石のうち、約3%に当たる31石は『割れ等を補修

（※3）』した後に戻されます。また、約2%に当たる17石は『破損が著しく補修できない（※4）』ため、新しい石と交換します。新石材には江戸時代と同じく岩木山麓の石を使用します。これを破損前の形状に近付けるように整形加工し、元の位置に積み直します。

また、石垣をこれまで以上に長く健全に保っていくためには、石垣の内部を健全な状態に維持することが不可欠なため、土の改良や地下水の処理といった排水対策も行います。

今回のように天守の移動を伴い、計画的に実施する大規模な石垣修理工事は極めてまれで、全国でもなかなか目にするにはできないものです。この貴重な工事の内容を市民の皆さんにも発信するため、5月上旬から、二の丸の石垣展望デッキ横と市ホームページで「弘前城本丸石垣修理事業・作業予定表」を公開しています。今週・次週の2週間分の工事予定を掲示（週初めの平日に更新）していますので、進捗状況の確認や工事を見学する際などにご活用ください。

今後は石垣に関する体験イベントなどの開催も予定していますので、詳細が決まり次第、改めて広報ひろさきなどでお知らせします。



▲割れ等を補修した例（※3）



▲破損が著しく補修できない築石（※4）

※弘前城本丸石垣修理事業について、詳しくは下記 URL をご覧ください。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/ishigaki/index.html>

■問い合わせ先 公園緑地課弘前城整備活用推進室（弘前公園緑の相談所内、☎ 33-8739）